



独立行政法人国立病院機構
小倉医療センター 広報誌

小倉医療センター だより

Kokura Medical Center

2025
vol. 02
AUTUMN

小倉祇園太鼓（こくらぎおんだいこ）は、小倉城内に鎮座している八坂神社の例大祭で、江戸時代以来、約400年の歴史を有する古い祭りです。太鼓の音には「天下泰平、国土安泰、五穀豊穡、商売繁盛、無病息災」を願う意味が込められ、古来より「祇園風に吹かれると夏患いせぬ」とわれています。^{※1}

※1 北九州市小倉北区ホームページ参考



巻頭

診療科・チーム医療紹介

糖尿病・内分泌代謝内科／緩和ケアチーム／精神科／精神科リエゾンチーム／放射線科

トピックス1 放射線科（共同利用）

トピックス2 小倉医療センター小倉祇園太鼓保存会の紹介

トピックス3 紹介患者専用ダイヤルを増設しました

病院理念 この街には、この病院があるから住みたいと思われるような病院を目指します。

糖尿病・内分泌代謝内科

Diabetes, Endocrinology and Metabolism

糖尿病・内分泌代謝内科医長 加来真理子

当科は、糖尿病認定教育施設、内分泌代謝・糖尿病内科領域研修施設、日本肥満学会認定肥満症専門病院であり、糖尿病、内分泌代謝疾患、肥満症に対して専門性の高い診療を行っています。

令和元年5月より糖尿病センターを立ち上げ、専門医のみならず、専門的知識のある看護師、管理栄養士、薬剤師、作業療法士、臨床検査技師、事務の多職種からなるチーム医療を行っています。各職種で協力して行う患者会や糖尿病教室、地域にむけた健康教室、フットケア



などを通して患者教育にも力を入れており、地域の先生方との医療連携を行い、糖尿病とともに生きる患者さんの円滑な治療継続に努めています。糖尿病腎症外来で糖尿病腎症の重症化予防に努め、また、小倉第一病院との連携により腹膜透析を導入された患者さんのフォローに関してもチームで対応する体制を整えています。

糖尿病診療では約3週間の教育入院を設定しており、現在の糖尿病の代謝状態の把握、糖尿病 細小血管合併症や動脈硬化の評価を行い、治療方針を決定します。これを元に、体組成や生活習慣に合わせた食事・運動療法の指導も行っています。多忙な患者さんへの短期間の教育入院、手術を控えた患者さんへの 術前血糖コントロール入院なども、状況にあわせて柔軟に対応しています。

妊娠糖尿病や糖尿病合併妊娠症例も多く、当院産婦人科とのスムーズな連携の上、適切な治療を行っています。1型糖尿病合併妊娠など血糖コントロールに難渋する症例にも、持続血糖測定（rtCGM, isCGM）やインスリンポンプ療法、SAP（Sensor-Augmented Pump）を使用し対応しています。

副腎腫瘍・下垂体腫瘍についての精査入院を行っており、内分泌学的負荷試験、CT・MRI・シンチなどの画像検査、副腎静脈サンプリング等の結果を総合的に判断して、診断や治療方針の決定を行っております。

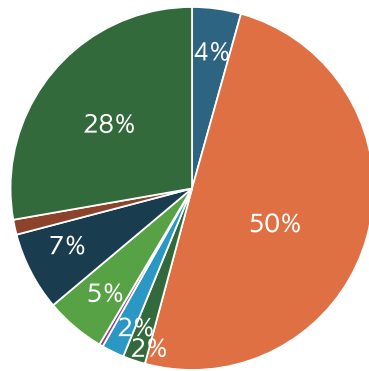
当科で診療を行っている主な疾患

- ① 糖尿病（1型糖尿病・2型糖尿病・妊娠糖尿病・糖尿病 合併妊娠、糖尿病腎症）
- ② 甲状腺疾患（バセドウ病、橋本病、など）
- ③ 副腎疾患（副腎腫瘍、原発性アルドステロン症、クッシング症候群、褐色細胞腫、副腎皮質機能不全 症など）
- ④ 下垂体疾患（下垂体腫瘍、下垂体機能低下症など）
- ⑤ 副甲状腺疾患（原発性副甲状腺機能亢進症、副甲状腺機能低下症など）
- ⑥ 性腺疾患（性腺機能低下症、多胞性卵巢症候群など）
- ⑦ 肥満症（単純性肥満、二次性肥満、高度肥満）
- ⑧ 脂質代謝異常

上記疾患の診療を中心に、月曜日～金曜日は毎日、外来診察を行っています。

当院の治療を希望される患者さんのご紹介をよろしくお願い申し上げます。

糖尿病・内分泌代謝内科 専門領域内訳



専門領域：216名、63%

- 1型糖尿病
- 2型糖尿病
- その他の糖尿病
- 糖尿病合併妊娠
- GDM
- 内分泌
- 肥満症
- その他の代謝疾患
- その他

緩和ケアチーム

PCT : Palliative Care Team

緩和ケアチーム主任・消化器内科医長 河邊顕

“緩和ケア”について、どのような印象を持たれていますか？

がん対策基本法（2016年改正）では、緩和ケアは「がん、その他の特定の疾病に罹患した者に係る身体的もしくは精神的な苦痛又は社会生活上の不安を緩和することにより、その療養生活の質の維持向上を図ることを主たる目的とする医療」と定義されています。決して、「終末期の医療」ではないのです。さらに同法では「緩和ケアが診断の時から適切に提供されるようにすること」と規定されています。がん患者と家族は、がんを診断、告知された時点から、様々な苦痛を感じています。その苦痛は、痛みなどの身体的苦痛だけではなく、心理的、社会的、スピリチュアルな苦痛が複雑に絡み合った複合的な形をとることが多く、医師一人では対応に難渋することが実際に多くあります。それらの問題解決のためには、がんを診断された早期から、多職種での取り組みを必要としています。当院でも多職種で、緩和ケアチームとして活動しています。メンバーは消化器内科、外科、婦人科、精神科の各医師、看護師、薬剤師、管理栄養士、理学療法士、ソーシャルワーカーです。主治医や病棟スタッフから、チーム介入が必要と判断された患者について、毎週水曜日にチーム全員でカンファレンスを行い、病棟回診をしています。さらに、年1回の「医療者のための緩和ケア研修会」、年2回「院内学習会」を行っています。今後も一人でも多くの患者のQOL改善につながるよう活動していきたいと考えています。



精神科

Psychiatry

精神・神経センター長 磯村周一

当科は総合病院精神科としてチーム医療、多職種連携に力を入れています。精神科医師7名（精神保健指定医3名）、病棟看護師23名に加え、外来看護師、精神科ソーシャルワーカー、薬剤師、作業療法士、理学療法士、管理栄養士、心理職、クラークなど様々な専門職が日々協力して診療を行っています。

リエゾンチームは精神科医師、認定看護師、特定行為看護師、公認心理師からなり、一般病棟での精神的問題に対応しています。また緩和ケアやハイリスク妊産婦に関しても院内多職種チームの一員として専門性を発揮しています。

入院部門について当院は北九州医療圏の地域医療支援病院で唯一精神科病床を持つ病院であり、閉鎖ゾーン26床（うち保護室3床）、開放ゾーン24床（うち有料個室2床、観察室2床）で運営しています。一般病棟では対応が困難な精神疾患と身体疾患の合併例や、修正型電気けいれん療法を必要とする重篤なケースの対応が当科の重要な役割と考えていますが、近年では開放ゾーンを活用し、精神疾患のみの入院治療も積極的に受け入れています。

外来部門はもの忘れ外来、一般外来に分かれており、完全予約制となっています。MRI、脳血流シンチグラフィ、ドパミントランスポーターシンチグラフィ、脳波等の各種検査が迅速に行える点が特徴です。

地域の皆様のお役に立てるよう職員一丸になって努めて参りますので、今後ともどうぞよろしくお願い致します。



精神科リエゾンチーム

PLT: Psychiatric liaison Team

当院では、2018年に精神保健指定医、精神科認定看護師、精神保健福祉士、臨床心理士（公認心理師）、薬剤師による精神科リエゾンチームを発足し、一般病棟に入院中の精神疾患がある方をはじめ、身体の病気を患い不安を感じている方、妊娠や出産で精神面の不調を来している方、不眠やせん妄を呈している方などに対して、精神的なアプローチを行い、安心して身体的治療に専念できるようにサポートしております。活動内容と致しましては、チームによる週に2回の患者回診、及び病棟ラウンドやカンファレンスの開催、一般病棟スタッフの相談対応やメンタルヘルスへの介入、不穏な患者がいれば病棟に駆けつけて対応行うなど、幅広く活動しております。又、2025年度より新たに特定行為看護師（精神及び神経症状に係る薬剤投与関連）も加わり、精神的な問題に早期かつ迅速に対応できる体制となっています。

‘リエゾン’とは、フランス語で『連携・橋渡し』を意味します。今後も精神科リエゾンチームでは、多職種が連携・協働したチーム医療を提供し、活動の幅を拡げていきたいと考えております。



放射線科

Radiology

放射線科医長 野見山弘行

当科は現在、放射線科診断専門医 1 名、放射線科専攻医 1 名、非常勤放射線科治療専門医 2 名、診療放射線技師 11 名にて診療を行っております。

一般診療に加え、病診連携として、超音波（腹部）・CT（内臓脂肪 CT、大腸 CT 含む）・MRI・核医学検査・骨密度検査を行っています。



画像および報告書は CD/DVD-ROM にて当日中に発送いたしております。（大腸 CT は数日かかりますのでご了承下さい。）当日の緊急検査や検査当日の画像・報告書が御要望の際にも可能な限り対応していきたくておりますので御相談ください。

また、インターネットを利用した CT・MRI 検査の予約が可能な C@RNA connect を採用しております。導入を検討の際には御連絡下さい。

電話：093-921-8881（代表） 放射線科

◀ **画像診断予約連絡表のFAX送付先：093-921-8892** ▶

放射線治療機器も導入しており、九州大学放射線科のバックアップをうけ、週2回の非常勤医師による放射線治療専門外来も行っております。

地域医療支援病院として少しでも皆様のお役に立てるよう、日々の診療に努めて参りますので今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

地域医療連携室 電話：093-921-8887（直通）

当院のCT検査をご活用ください：迅速な診断で診療をサポート

日頃より、当院との連携にご尽力いただき、誠にありがとうございます。

開業医の先生方が、日々多くの患者さんと向き合う中で「もう少し詳しく検査したい」、「でも、患者さんの負担は最小限にしたい」と感じる場面は少なくないと思います。

当院のCT検査は、そんな先生方の悩みを解決し、患者さんにとって最適な医療を提供するためのパートナーです。当院へのご依頼をお待ちしています。

当院CT検査のメリット

- ① 診断の迅速化：ベテランの放射線診断専門医による読影で、先生方の診断を強力にバックアップします。
- ② 患者さんへの負担を軽減：短時間で撮影が可能のため、患者さんの身体的、時間的負担を軽減できます。
- ③ 迅速な連携体制：検査当日に結果報告できるよう努め、先生方の診療計画がスムーズに進むようにサポートします。



CT検査例



大腸CT

大腸内視鏡検査の負担が苦手な方や、内視鏡挿入が困難な方のための、比較的負担の少ない検査です。もし異常が見つかった場合は、精密検査として大腸内視鏡検査が必要になります。

内視鏡挿入困難時、当日検査も行っています。
お問い合わせください。

内臓脂肪測定

CT装置で腹部を撮影することで、正確に皮下脂肪や内臓脂肪を計測することができます。

解析結果のレポートを画像データと共に提供いたします。



問い合わせ先

国立病院機構小倉医療センター 放射線科
電話：093-921-8881（代表）

小倉医療センター小倉祇園太鼓保存会の紹介

地域医療連携室係長 甲斐さおり

小倉祇園太鼓は、平成 31 年 3 月に国の「重要無形民俗文化財」に指定された祇園祭です。小倉祇園祭で叩かれる太鼓の音は、「天下泰平」「国土安泰」「五穀豊穡」「商売繁盛」「無病息災」の祈願が込められています。※1

小倉医療センターには小倉祇園太鼓保存会があり、約30人のメンバーが所属し、毎週火曜日と金曜日の夜、太鼓の練習を行っています。7月18～20日の小倉祇園祭では、紫川親水広場で祇園太鼓を披露しました。また7月19日(土)には、当院の正面玄関でたくさんの患者さん・ご家族、職員を前に小倉祇園太鼓を披露しました。太鼓の暴れ打ち、ジャンガラの賑やかな音に拍手喝采。「ア、ヤッサヤーレヤレヤレ」の掛け声に歓声と大変盛り上がりしました。

※1 北九州市小倉北区ホームページ参考



紹介患者専用ダイヤルを増設しました

地域医療連携室係長 甲斐さおり

日頃より当院の医療連携につきましてご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。
このたび、当院へ患者さんをご紹介いただく時に、電話がつながりにくいとの声を受け、7月1日より地域医療連携室に医療機関からの紹介患者専用ダイヤルを増設しました。
患者さんをご紹介頂く際はぜひご利用ください。

地域医療連携室紹介患者専用ダイヤル
093-921-8887



病院代表

FAX: 093-522-5072 TEL: 093-921-8881

地域医療連携室

FAX: 093-921-8892 TEL: 093-921-8887 (紹介患者専用)

国立病院機構 小倉医療センター 〒802-8533 北九州市小倉南区春ケ丘10-1

診療科	月	火	水	木	金	備 考
内科一般（新患） 【内線 264】	当番医	当番医	当番医	当番医	当番医	新患担当は、内科系医師の交代制です。
肝臓内科 【内線 208】	佐藤 丈顕 荒武 良総	佐藤 丈顕	佐藤 丈顕	國吉 政美	國吉 政美 荒武 良総	
血液内科 【内線 208】	武藤 敏孝	高月 浩	武藤 敏孝	高月 浩		※血液内科について下記欄外参照ください。
糖尿病・ 内分泌代謝内科 【内線 264】	加来 真理子 林 加野 戸高 悠	加来 真理子 今蘭 直博 上中 玲奈	加来 真理子 林 加野 上中 玲奈	加来 真理子 林 加野	今蘭 直博 戸高 悠	
呼吸器内科 【内線 208】	休 診					
循環器内科 【内線 202】		鈴木 哲	鈴木 哲		◆	新患：連携室へ事前相談 （急患不可） ◆他院より派遣医師
消化器内科 【内線 205】	河邊 顕	村尾 寛之 林 康代	河邊 顕 林 康代	村尾 寛之 林 康代	河邊 顕 村尾 寛之	脾疾患は河邊医師が担当。
消化器・一般外科 【内線 205】	鈴木 宏往	田辺 嘉高 山田 裕	田辺 嘉高 田邊 麗子	鈴木 宏往 堤 宏介	田邊 麗子	
乳腺外科 【内線 205】	堤 宏介	轟木 秀一 山田 裕	◇予約のみ	轟木 秀一	轟木 秀一	◇印 予約のみ
整形外科	深川 真吾 長谷川 晃大 中尾 允哉	八木 宏樹	深川 真吾 長谷川 晃大 八木 宏樹	長谷川 晃大	深川 真吾 八木 宏樹 中尾 允哉	
小児科（午前） 【内線 209】	◇※牧村 美佳 安永 由紀恵 安成 大輔 中嶋 敏紀	▲安成 大輔 安永 由紀恵 米良 智子 ★渡辺 恭子 中嶋 敏紀 ★緒方 怜奈	◇牧村 美佳 松永 千恵 河原 典子 ◎大野 拓郎 ●安永 由紀恵 ◇九大より派遣 （第2・4週）	河原 典子 中垣 彩 米良 智子 ★※緒方 怜奈 中尾 泰介	◎大野 拓郎 河原 典子 牧村 美佳 ◎古賀 大貴 ★渡辺 恭子 ★緒方 怜奈 ★安永 由紀恵	◎循環器外来（予約制） △アレルギー外来（予約制） ★神経外来（予約制） ◇内分泌外来（予約制） □新生児外来（予約制） ※初診のみ ●予約制 専門外来新患は要電話予約 （9:00～14:30 電話受付） 詳しくは病院ホームページ
小児科（午後） 【内線 209】	1 か月健診：松永 中嶋 敏紀 ◎※古賀 大貴 山喜多 悠一	※▲安成 大輔 中嶋 敏紀 ◇多久 葵 藤川 諒太 ★渡辺 恭子 ★緒方 怜奈	◇牧村 美佳 倉田 浩昭 湯浅 千春 ◎大野 拓郎 ★九大より派遣 （第3週）	1 か月健診 中嶋 敏紀 川上 勲 ★緒方 怜奈	▲米良 智子 倉田 浩昭 湯浅 千春 ◎古賀 大貴 ★渡辺 恭子 ★緒方 怜奈 ★安永 由紀恵	
小児外科 【内線 209】	【手術日】 （急患のみ可）	中村 晶俊 生野 久美子 橋本 佳子 生野 猛	【手術日】 （急患のみ可）	中村 晶俊 生野 久美子 橋本 佳子 ◎生野 猛	中村 晶俊 生野 久美子 橋本 佳子 生野 猛	◎小児泌尿器外来 急患は随時対応
産科・婦人科 【内線 204】	*川上 浩介 河村 京子 石橋 弘樹 藤川 梨恵 中並 弥生 竹内 一輝 竹内 敬祐	*川越 秀洋 中並 弥生 牛島 崇 牟田 満 光山 文彦 [手術日]	*川上 浩介 徳田 諭道 河村 京子 森岡 将来 石橋 弘樹 堀 洋暢 牛島 崇	*川越 秀洋 森岡 将来 藤川 梨恵 堀 洋暢 牟田 満 光山 文彦 熊谷 晴介	*川上 浩介 徳田 諭道 北川 麻里江※ 仲 碧子 竹内 一輝 吉川 秀昭 [手術日]	※ 10月10日まで *印 新患担当 新患は紹介患者様ののみ
泌尿器科 【内線 213】	◆	[休診]	[休診]	◆	◆	◆他院より派遣医師
皮膚科 【内線 8080】	土井 和子 酒井 雛子	土井 和子 酒井 雛子	土井 和子 酒井 雛子	土井 和子 酒井 雛子	土井 和子 酒井 雛子	
眼科 【内線 212】	能美 典正 海津 嘉弘 松井 孝介	松井 孝介 海津 嘉弘 [手術日]	宮城 美智子 海津 嘉弘（奇数週） 松井 孝介	能美 典正 海津（奇数週） 松井（偶数週） [手術日]	能美 典正 海津 嘉弘 松井 孝介	新患：連携室へ事前予約 急患は事前相談を 火・木は10:00で受付終了
精神科	*磯村 周一 今村 眞帆 江夏 真一郎 上野 桃	*榎藤 知子 今村 眞帆 江夏 真一郎 古賀 美紗樹	*江夏 真一郎 磯村 周一 今村 眞帆 榎藤 知子	磯村 周一 榎藤 知子	*古賀 美紗樹 磯村 周一 榎藤 知子 大喜多 洋	*印 新患担当 新患は要電話予約 （9:00～14:30 電話受付）
放射線科 【内線 231】	野見山 弘行	野見山 弘行 脇山 浩明（午後）	野見山 弘行	野見山 弘行	野見山 弘行 高木 正統（午前）	
耳鼻咽喉科 【内線 8320】	[休診]	◆	[休診]	[休診]	◆	◆九大より派遣医師
消化管内視鏡 【内線 379】	村尾 寛之 林 康代	河邊 顕	村尾 寛之	河邊 顕 佐藤 丈顕 荒武 良総	林 康代	

注：受付時間：午前8:30～11:00（急患については、この限りではありません）

注：不在の場合は担当医が変更になることがあります。

注：詳しくは、病院ホームページをご覧ください。

注：血液内科診療につきまして、診療体制の都合上、新規の紹介患者様の受け入れに、ご迷惑をおかけする場合があります。